フマキラー株式会社

2022年3月期 第2四半期
決算説明資料

日用品質

2021年12月2日

日用品質
フマキラー®

目次

Ⅰ．決算概要

Ⅱ．通期予想と今後の展開

Ⅲ．補足資料

Ⅰ．決算概要
（2022年3月期 第2四半期）

日用品質 フマキラー

決算概要－連結売上・利益

- 売上高はほぼ期初計画通りの進捗
- 海外の原材料高、アルコール除菌関連の想定以上のマイナスによる原価率のアップ、日本・インドネシア・マレーシアでの販管費の増加
- 「収益認識に関する会計基準」を適用し、上期売上に対して将来発生する返品に対する費用計上が期初計画より増加したこと等で、利益は期初計画を下回る

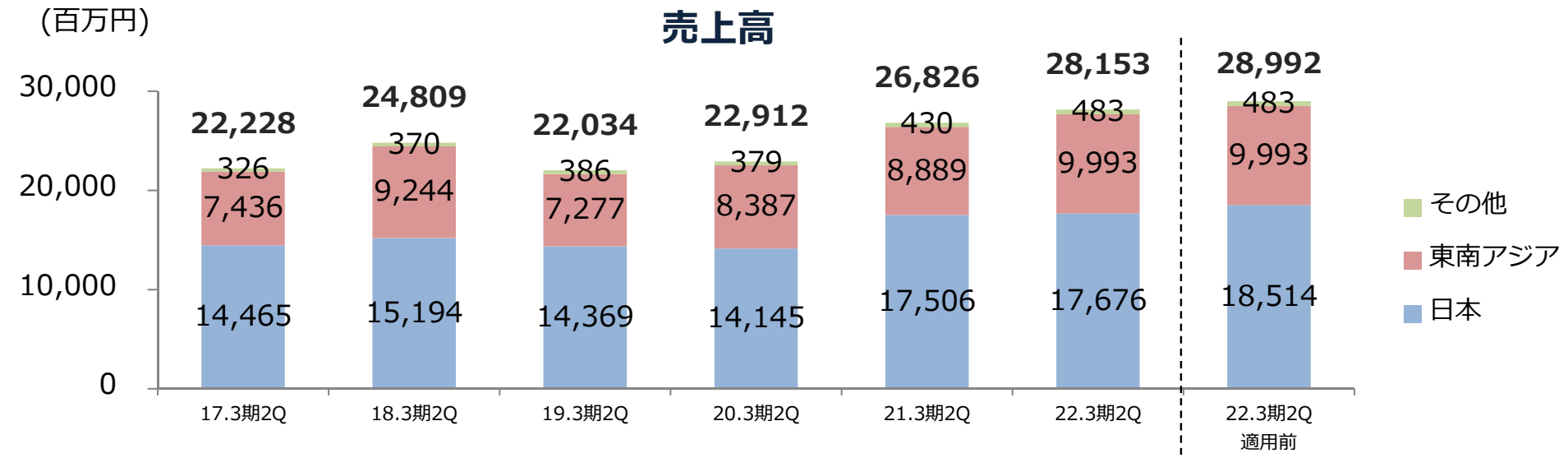
	21.3月期2Q 実績		22.3月期2Q 期初計画		22.3月期2Q 実績				
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	計画比 (%)	収益認識基準適用前 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	26,826	100.0	28,400	100.0	28,153	100.0	99.1	28,992	108.1
売上総利益	8,314	31.0	9,100	32.0	8,479	30.1	93.2	8,909	107.2
営業利益	2,366	8.8	2,500	8.8	1,643	5.8	65.7	1,887	79.8
経常利益	2,478	9.2	2,590	9.1	1,799	6.4	69.5	1,977	79.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,620	6.0	1,540	5.4	1,217	4.3	79.0	1,341	82.7
1株当り利益	98.34円		93.43円		73.87円			81.37円	

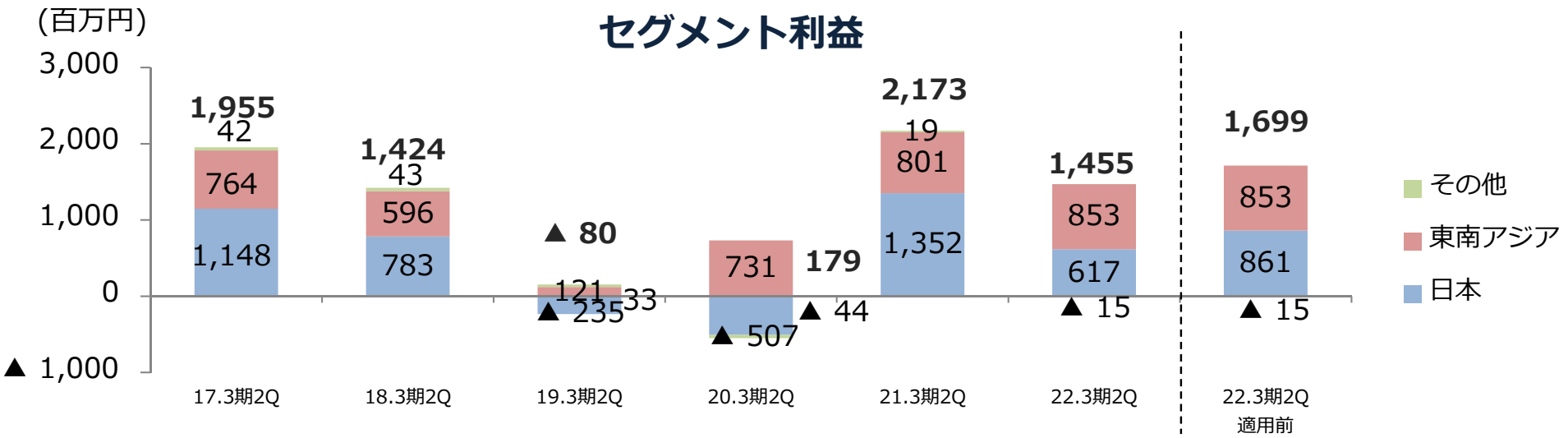
※売上総利益：返品調整引当金繰入前

日用品質 フマキラー

決算概要－セグメント情報

- 日本は、利益率の高いアルコール除菌関連商品の減少と販管費増により利益減
- 東南アジアは、各国売上高は順調に推移したものの、原材料の高騰、販管費増が影響し利益減

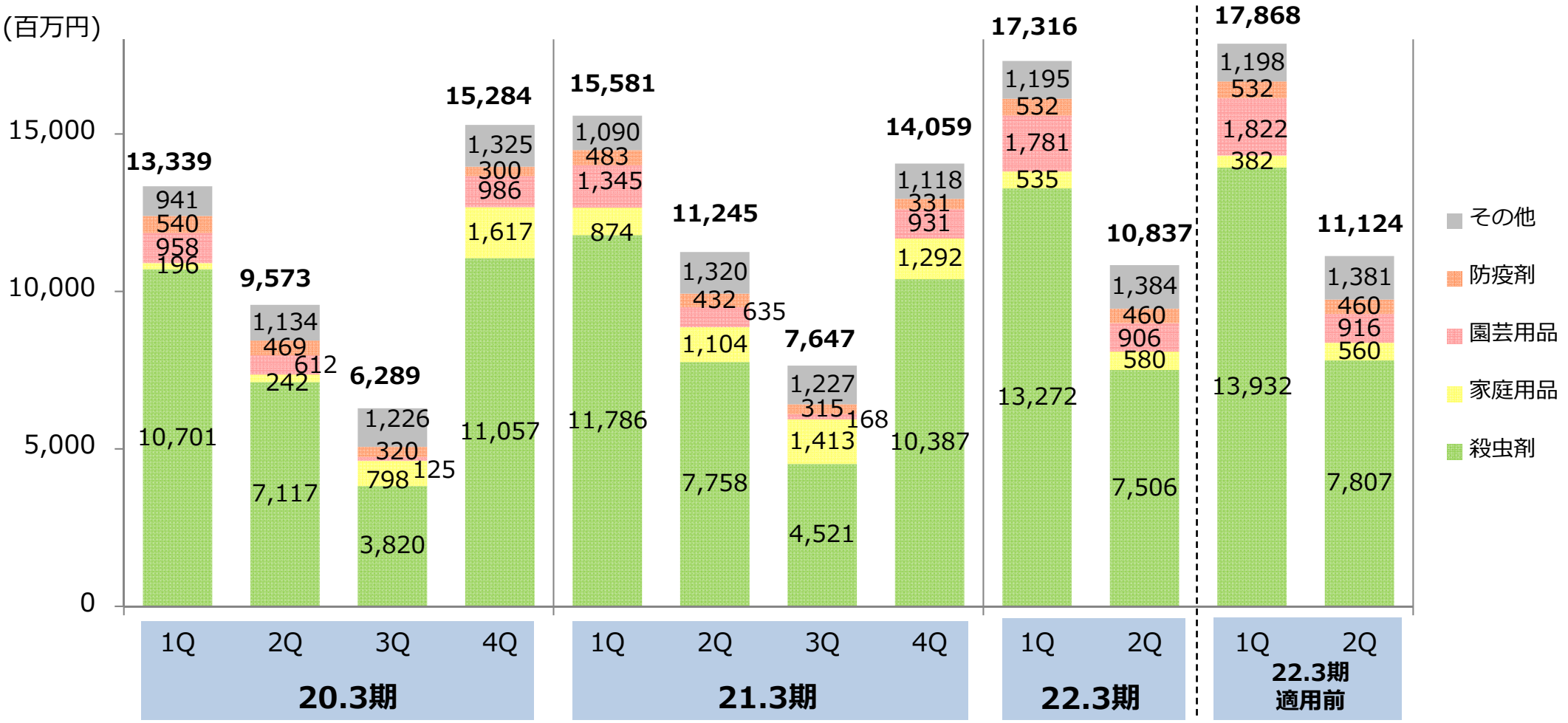




日用品質 フマキラー

決算概要－商品ジャンル別売上②

- 殺虫剤は、1Qは順調に推移したものの、2Qに入り長雨や台風の影響を受ける
- 家庭用品は、通常年に比べればプラスだが、前年比では大幅マイナス。昨年コロナ対策による アルコール除菌剤の急拡大の反動と、花粉関連商材の返品増加の影響
- 園芸用品・防疫剤・その他は好調を持続



日用品質 フマキラー

決算概要－売上高の増減要因

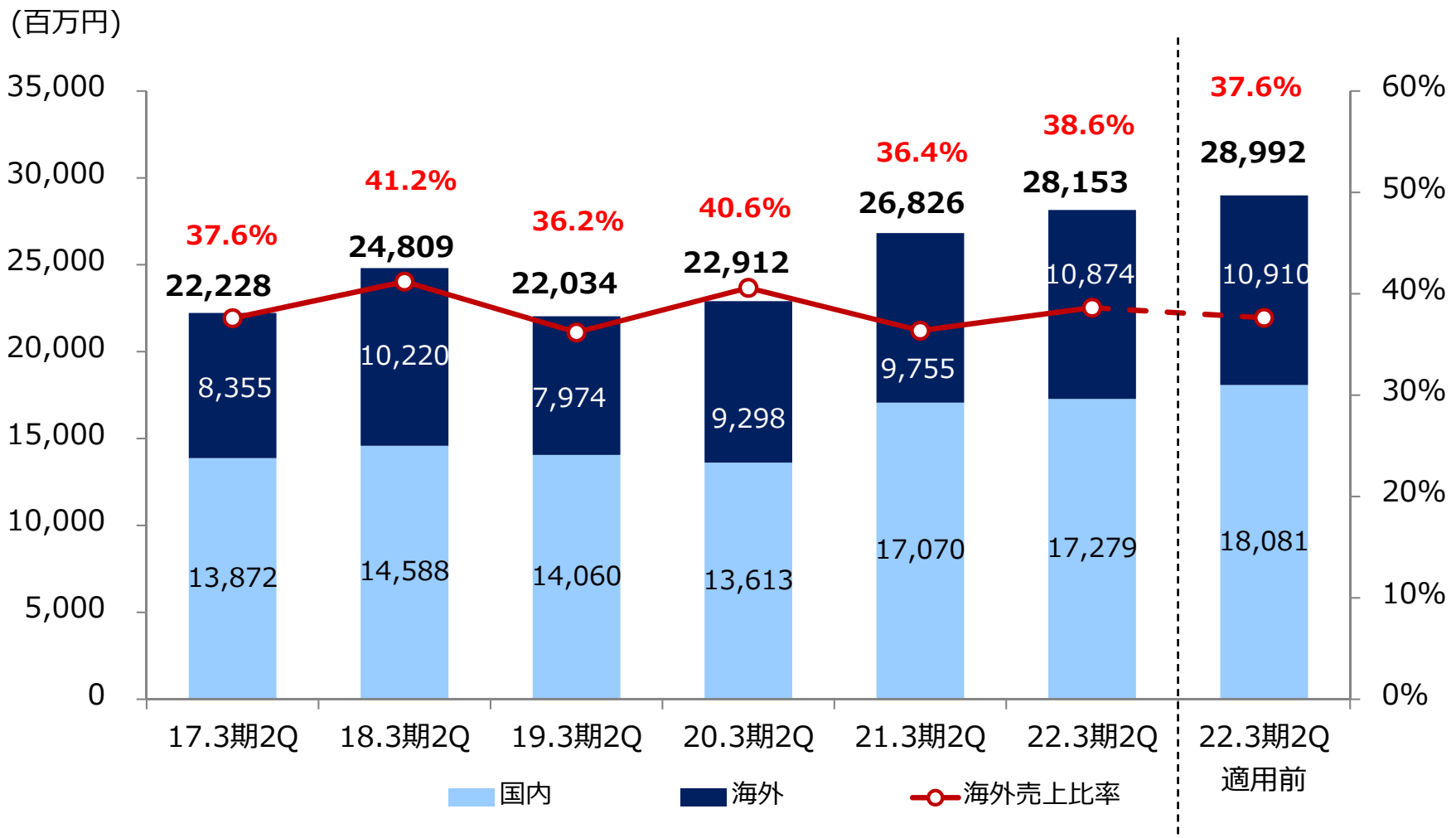
収益認識適用前のジャンル別前期増減

ジャンル		前期比	要因
殺虫剤	国内	110.8%	・8月・9月は全国的な長雨、台風の影響を受けたが、4月～7月の最盛期は天候条件が良く伸長
	海外	111.7%	・各国とも現地通貨で前期を上回る ・為替の影響(円安)もあり円貨換算でも増加
家庭用品		47.7%	・前期に大幅に伸長したアルコール除菌剤等の需要が、供給の充足により低下し、花粉関連商材の返品増もあり大幅な減収
園芸用品		138.3%	・引き続き巣籠り需要もあり販売が好調 ・FSブルームの売上が加わった
防疫剤 その他		107.4%	・フマキラー・トータルシステム㈱のシロアリ施工工事が引き続き好調 ・防疫剤についても好調
合計		108.1%	

日用品質 フマキラー

決算概要－国内/海外売上高

- 国内は、殺虫剤・園芸用品が伸長し、家庭用品が落ち込むも前年同期比増収
- 海外は、売上面では現地通貨ベースでも順調だったうえに、為替もプラス寄与



日用品質 フマキラー

決算概要－為替の影響

- 為替による業績影響は、売上で+348百万円、営業利益で▲15百万円

為替変動による売上・利益増減額

(百万円)

	売上高	営業利益	備考（営業利益）
フマキラー	+15	▲36	海外売上+1、海外仕入▲37
海外子会社	+333	+20	インドネシア（2社）+0、メキシコ▲1、アジア+22他
合計	+348	▲15	

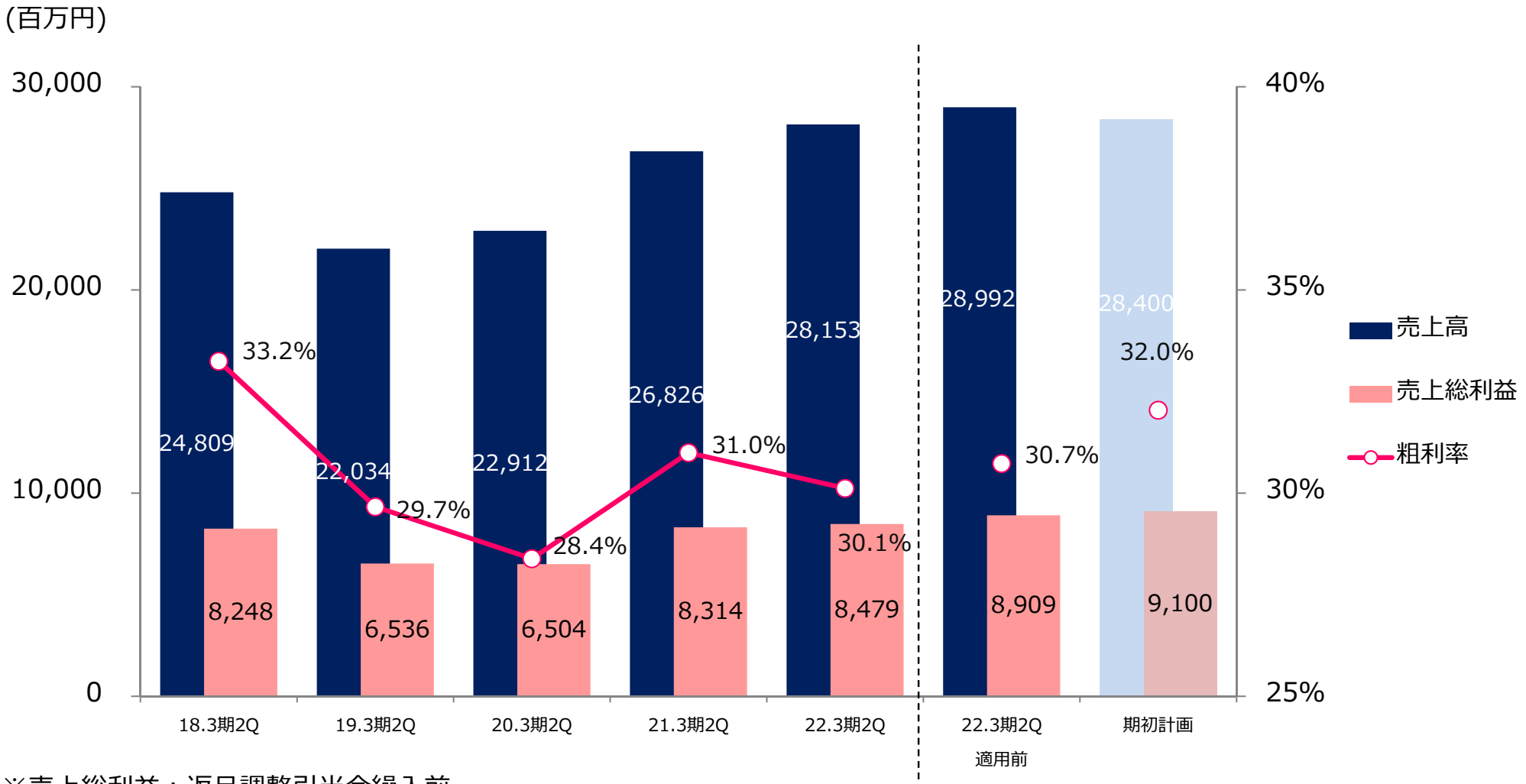
期末レート・期中平均レート

期末	20年6月	21年6月	21年12月計画
円/100ルピア	0.76	0.76	0.67
円/リンギット	25.16	26.64	25.22
円/ルピー	1.43	1.49	1.45
円/ペソ	4.66	5.58	4.57

期中平均	20年4-9月	21年4-9月	21年4月-22年3月計画
円/ドル	106.9	109.9	105.0
円/ユーロ	119.8	132.0	115.0

決算概要－売上総利益（粗利率）

- 売上総利益率は前年同期比0.3pt 低下
- 収益性の高いアルコール除菌関連の売上減少、海外における原材料費の上昇等が影響

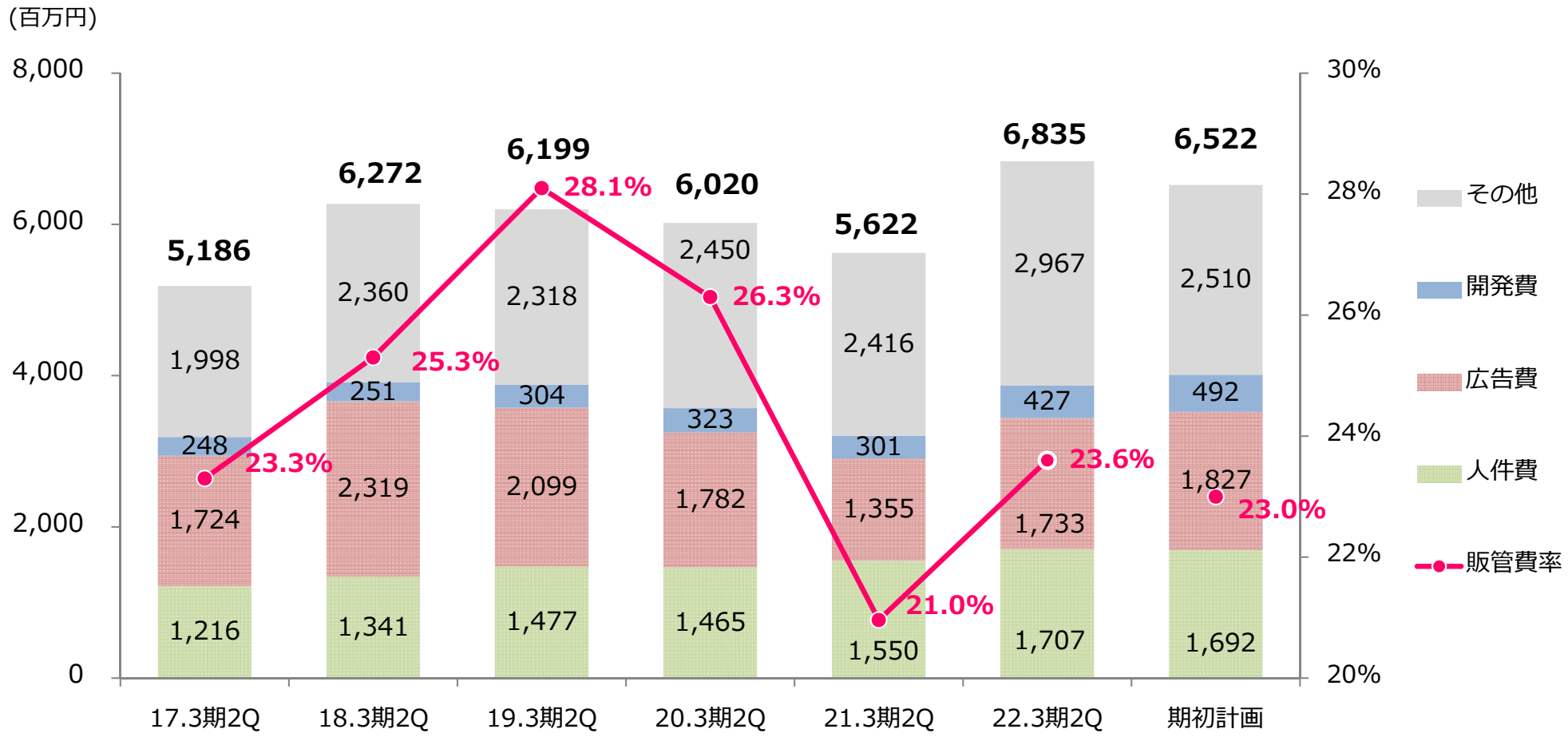


※売上総利益：返品調整引当金繰入前

日用品質 フマキラー

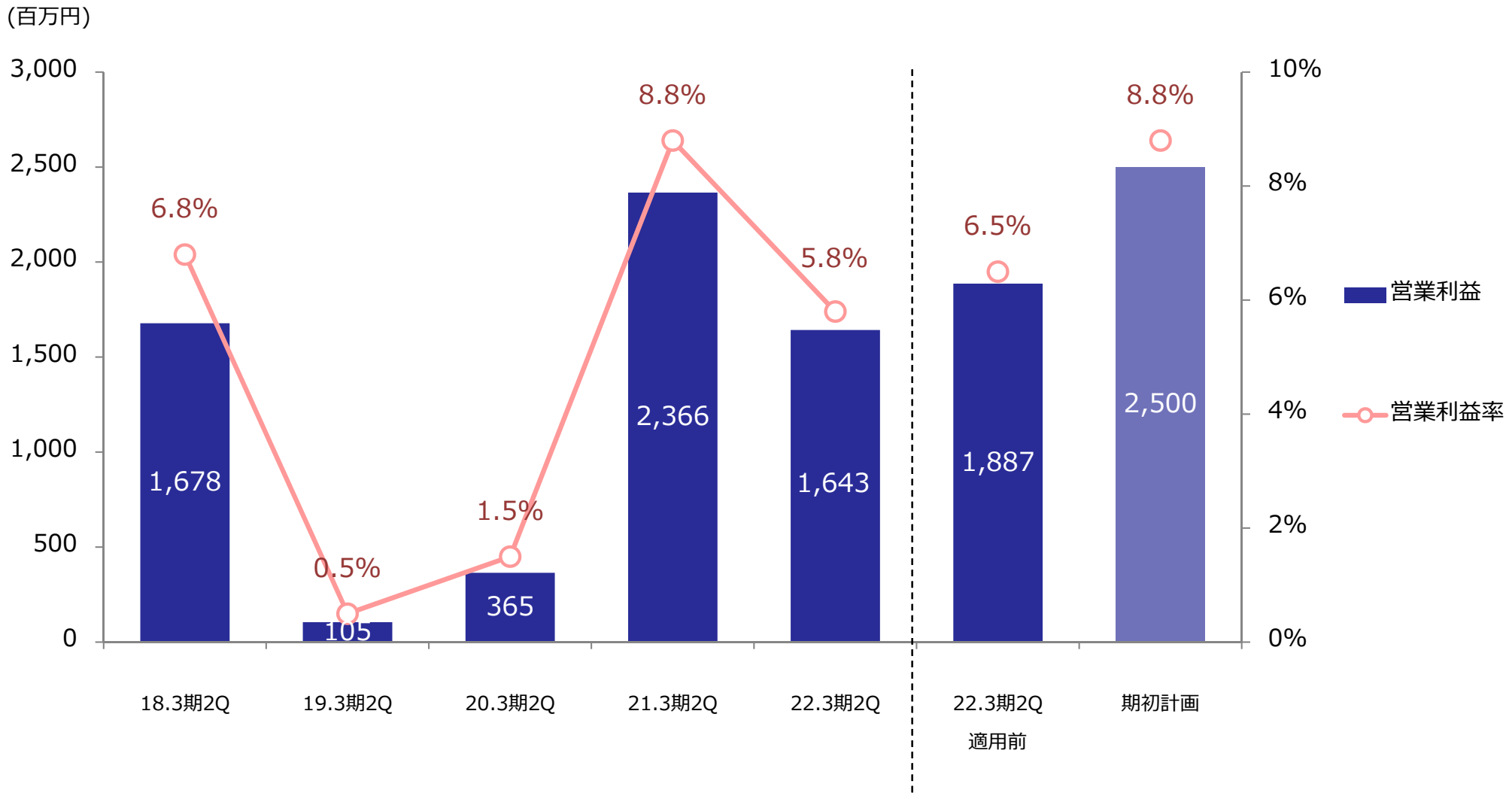
決算概要―販管費

- withコロナの中で営業活動が再開され全体的な経費増に加えて、売上増加と原油高などにより運送コストが上昇
- 広告・販促費用は積極的に投入



日用品質
フマキラー

決算概要―営業利益

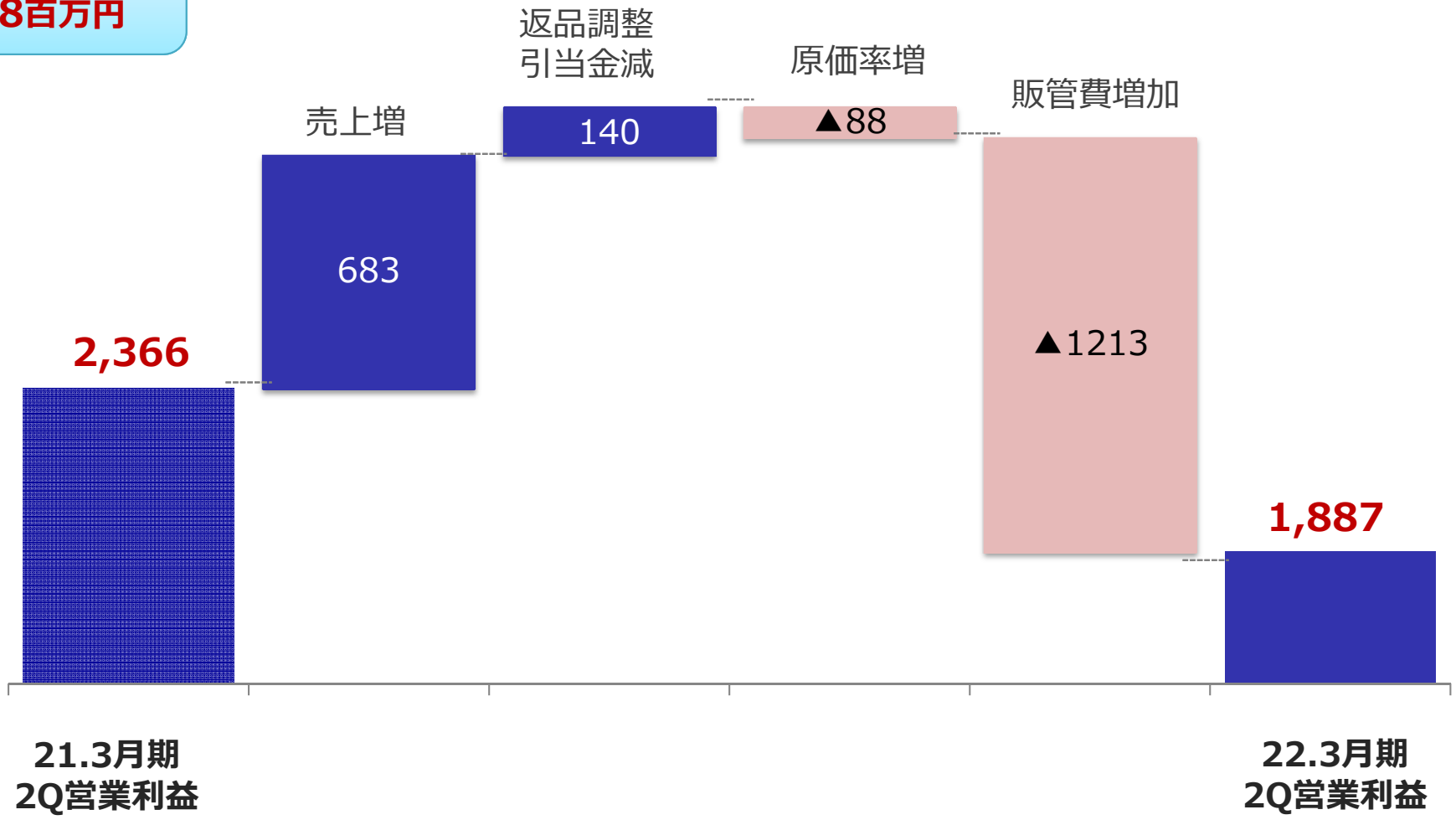


日用品質 フマキラー

決算概要―営業利益増減要因

収益認識適用前営業利益の前期増減要因

前期比
▲478百万円



日用品質 フマキラー

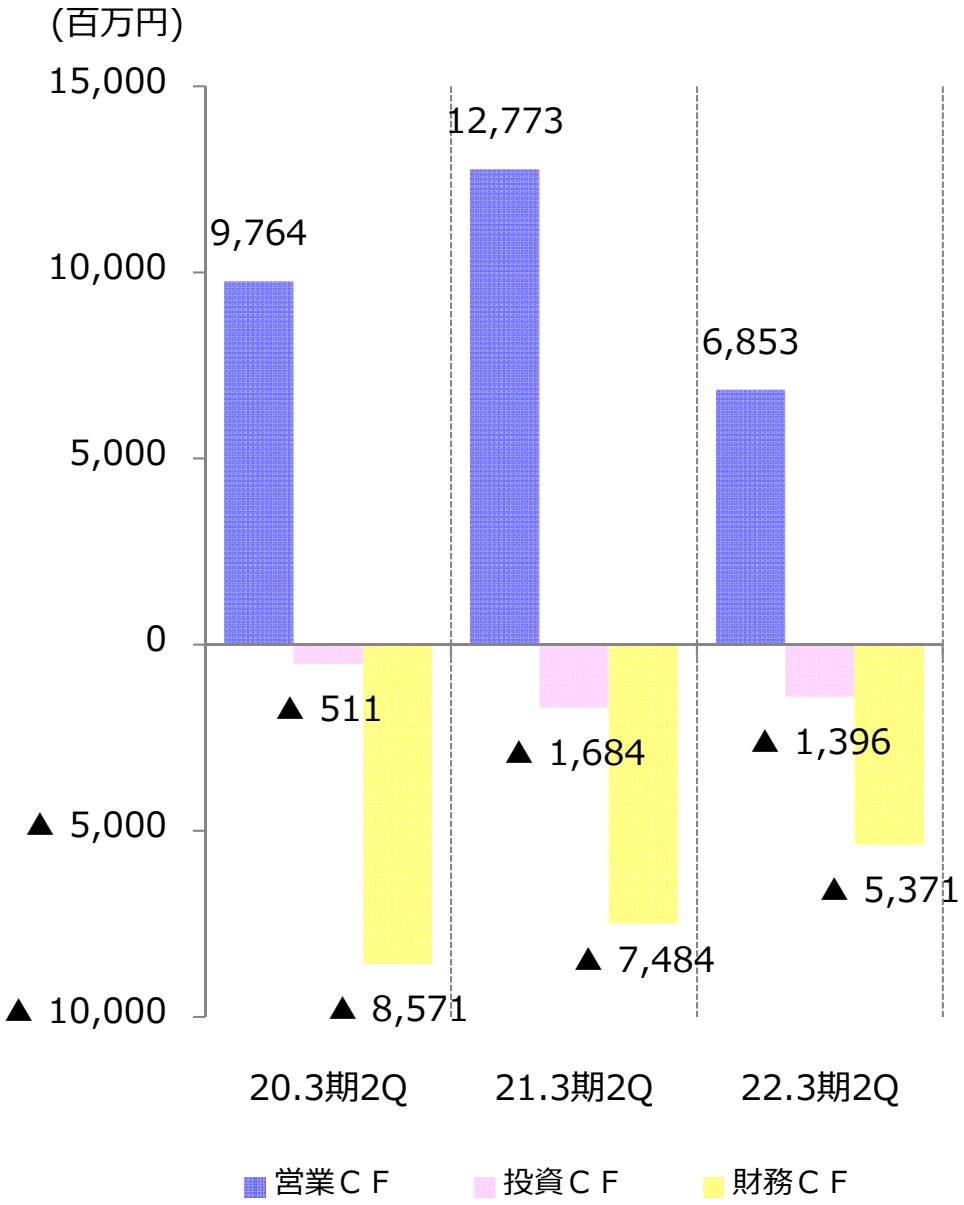
決算概要 – 貸借対照表

(単位：百万円)

	21.3期 2Q末	22.3期 2Q末	対21.3期2Q末増減	
流動資産	22,577	23,014	437	
現金及び預金	9,930	6,697	▲3,233	
売上債権	6,790	6,362	▲428	
たな卸資産	4,818	7,552	2,734	単体の在庫増
固定資産	14,810	16,302	1,492	
有形固定資産	7,152	8,443	1,291	ブレーンズ・パーク
無形固定資産	1,592	1,850	258	
投資有価証券	5,506	5,233	▲273	
資産合計	37,388	39,316	1,928	
流動負債	16,866	17,117	251	
買入債務	6,446	6,358	▲88	
固定負債	1,694	1,924	230	
有利子負債	2,837	2,463	▲374	
負債合計	18,561	19,041	480	
純資産	18,826	20,275	1,449	
資本金	3,698	3,698	0	
負債純資産合計	37,388	39,316	1,928	

日用品質 フマキラー

決算概要－キャッシュ・フロー



（単位：百万円）

	21.3期 2Q		22.3期 2Q
営業キャッシュフロー	**12,773**	→	**6,853**
税金等調整前四半期純利益	2,479	→	1,948
売上債権減少額	5,298	→	6,114
棚卸資産減少額	2,611	→	1,937
仕入債務増減額（▲は減少）	761	→	▲3,311
投資キャッシュフロー	**▲1,684**	→	**▲1,396**
有形固定資産の取得	▲1,678	→	▲1,344
財務キャッシュフロー	**▲7,487**	→	**▲5,371**
短期借入金の純増減額	▲7,062	→	▲4,809

Ⅱ．通期予想と今後の展開（2022年3月期）

日用品質 フマキラー

上期ふりかえり

22.3期上期総括

①海外事業は売上好調も、原材料費高騰と広告費の増加により利益率低下

- 主力のインドネシア、マレーシアが牽引
- 原材料価格の高騰による原価率のアップ

②国内は、期初計画を下回る

- アルコール除菌関連のマイナスが想定以上
- 殺虫剤は夏場の長雨・台風の影響で2Qに入ってスローダウン

今後の課題

①足もとの課題としては、

- 原材料価格高騰への対応
  - 海外⇒販売価格への転嫁を推進
  - 国内⇒リニューアルを含む新商品において適正価格での販売
- 国内における殺虫剤の返品抑制とアルコール除菌剤を中心とした家庭用品ジャンルの拡売

②中長期的には、

- シンジェンタジャパン株式会社よりフラワー（花卉）事業を譲受、園芸用品の強化
- 従来からの成長戦略の継続とブラッシュアップ

日用品質 フマキラー

今期業績予想

- 期初計画を据え置き

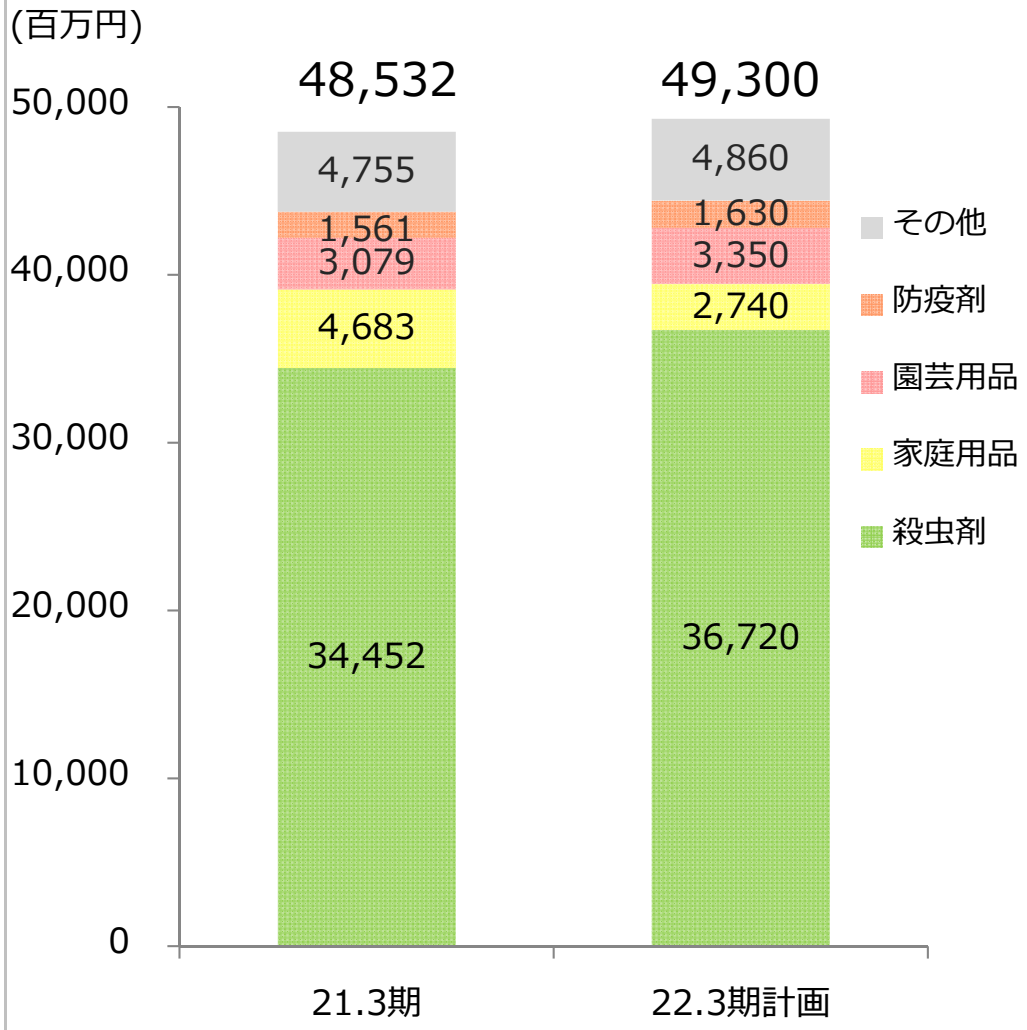
	21.3期実績 (百万円)	22.3期計画 (百万円)	対前期増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	48,532	49,300	(+768)	(101.6)
売上総利益 (粗利率)	15,573 (32.1%)	15,400 (31.2%)	(▲173) (▲0.9pt)	(98.9)
販管費	11,995	12,600	(+605)	(105.0)
営業利益	3,560	2,800	(▲760)	(78.7)
経常利益	3,852	3,250	(▲602)	(84.4)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,321	1,980	(▲341)	(85.3)

※売上総利益：返品調整引当金繰入前
今期より「収益認識に関する会計基準」適用のため、前期比較の数値は参考値

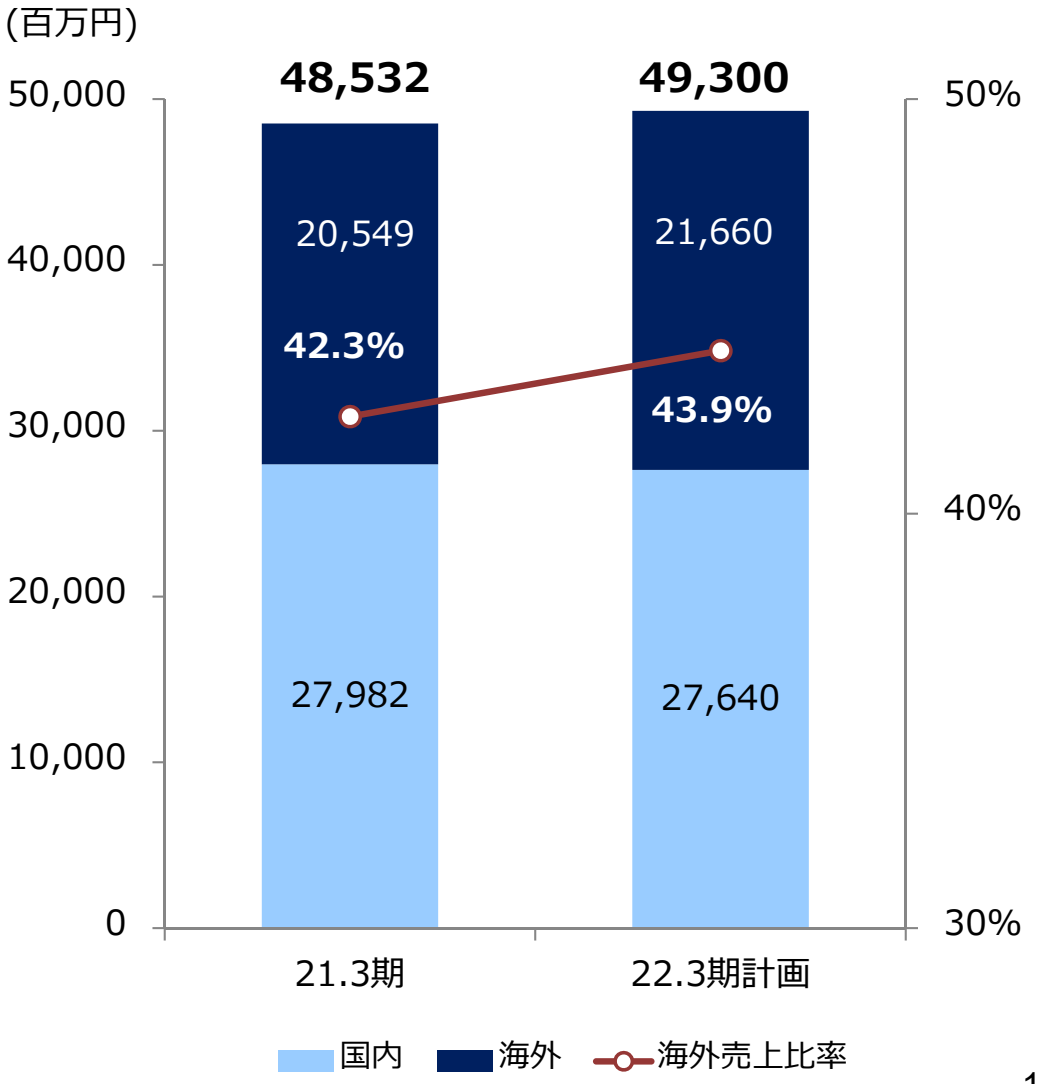
日用品質 フマキラー

今期予想－ジャンル別売上

ジャンル別売上高



国内/海外売上高



日用品質
フマキラー

今期の取り組み

項目	取り組み課題
日本のフマキラーグループの課題 (日本国内の課題)	➢ 画期的で魅力的な新商品の開発 ➢ 高品質で効率的な生産 ➢ 研究開発体制及び生産体制の強化 ➢ 販売力の強化と流通チャネルの拡大 ➢ ウイルス・細菌・アレルゲンなどのリスクへの対策商品の提案強化
海外のフマキラーグループの課題 (海外の課題)	➢ 国内と海外子会社間の連携強化とグループシナジー効果の向上 ➢ インドネシアの研究開発体制の強化 ➢ 海外事業の拡大と収益力の強化
収益力と財務状況の改善	➢ 国内外での商品アイテムの見直し ➢ 製品原価の低減 ➢ 在庫の適正化 ➢ 製品価値に基づいた適正価格での販売 ➢ 販管費の効率的運用(マーケティング費用含む)

日用品質
フマキラー®

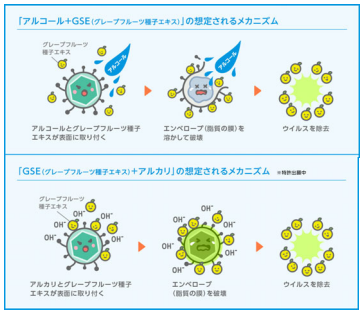
SDGｓへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 命・暮らし・環境で守る、フマキラーのCSR活動。

3 すべての人に健康と福祉を

■高効力製品の開発・販売

新型コロナウイルスに対する効果を確認



コロナウイルスに効くメカニズム（自社ＨＰより）

■研究拠点を新たに着工

■感染症についての啓発活動を実施

アジア・アフリカ感染症会議参加

開催の様子（日経ＢＰより）

アンチデング熱キャンペーンの実施（アジア地域）

キャンペーンマーク

4 質の高い教育をみんなに

■フマキッズこども研究所

PLAY ACTIVE!

コロナ禍の夏休み自由研究や子供達の活動を応援。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

■温室効果ガス削減への取組み

インドネシアで化学工場への高効率熱媒ヒーターシステムの導入。

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

■エコレールマーク取得

日用品質
フマキラー®

ブレーンズ・パーク稼働

ブレーンズ・パーク（全体図）

- 建設場所：当社広島工場（広島県廿日市市梅原）敷地内
- 建築面積：約5,335㎡
- 延床面積：約8,175㎡
- 内容：研究開発及び生産に関する施設等
  (生産に関する施設として、液剤工場の新設を予定)
- 稼働開始：2021年５月(研究開発棟)

日用品質
フマキラー®

ブレーンズ・パーク稼働-インドネシア

- 建設場所：インドネシア
- 内容：研究開発に関する施設
- 稼働開始：2021年６月

日用品質
フマキラー®

ミャンマー工場計画

ミャンマー工場建設

エアゾール工場

事務所棟

- 内容：エアゾール工場・事務所棟
- 稼働時期：ミャンマー国内の政情不安
  コロナの影響等により稼働開始を延期
  (稼働開始可能となり次第、速やかに稼働開始予定)

FSブルームの設立について

日用品質 フマキラー × syngenta

[フラワー事業]

FS Bloom

企業ロゴ コンセプト

植物が彩りをもって成長する様を表現しました。

FSブルーム株式会社

種苗ビジネス

リテールビジネス

植栽ビジネス

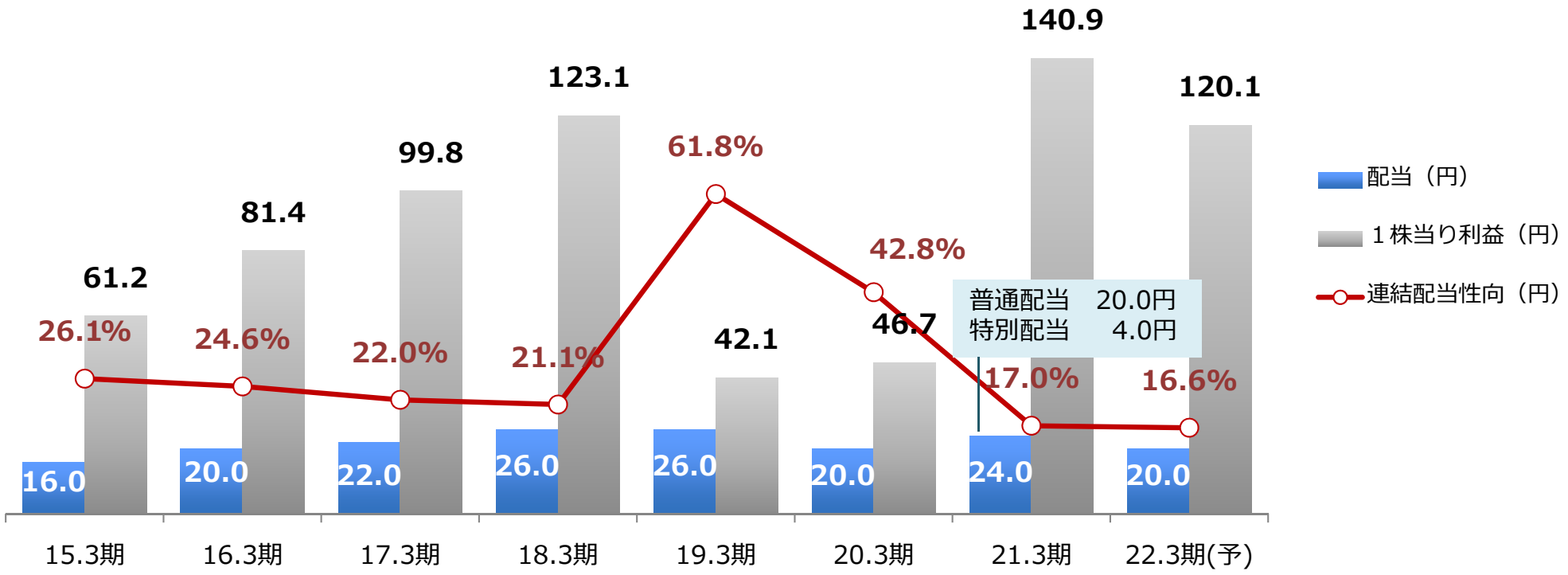
日用品質 フマキラー

配当について

配当に関する基本方針

株主様に対する利益還元として、業績・将来の事業展開や内部留保などを　総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを経営の重要課題として位置づけています

配当及び連結配当性向の推移



※17.3期以前の1株当り利益および配当は2017年10月1日に実施した株式併合を考慮して遡及修正

日用品質

フマキラー®

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

≪本資料に関するご照会先≫

フマキラー株式会社

取締役　管理本部長　　郷原　和哉

TEL　　：0829-55-2111

FAX　　：0829-55-0712

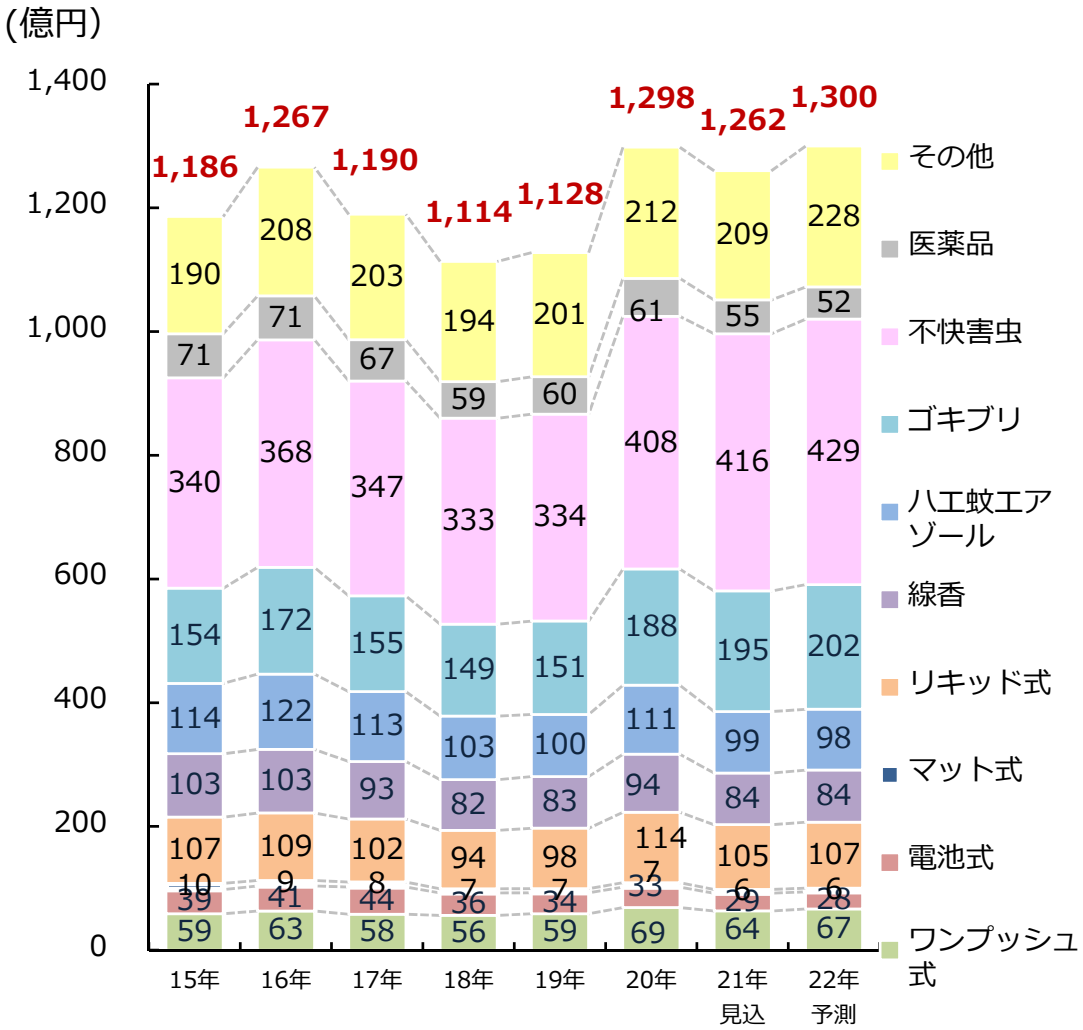
E-mail：kazuya-gobara@fumakilla.co.jp

Ⅲ． 補足資料

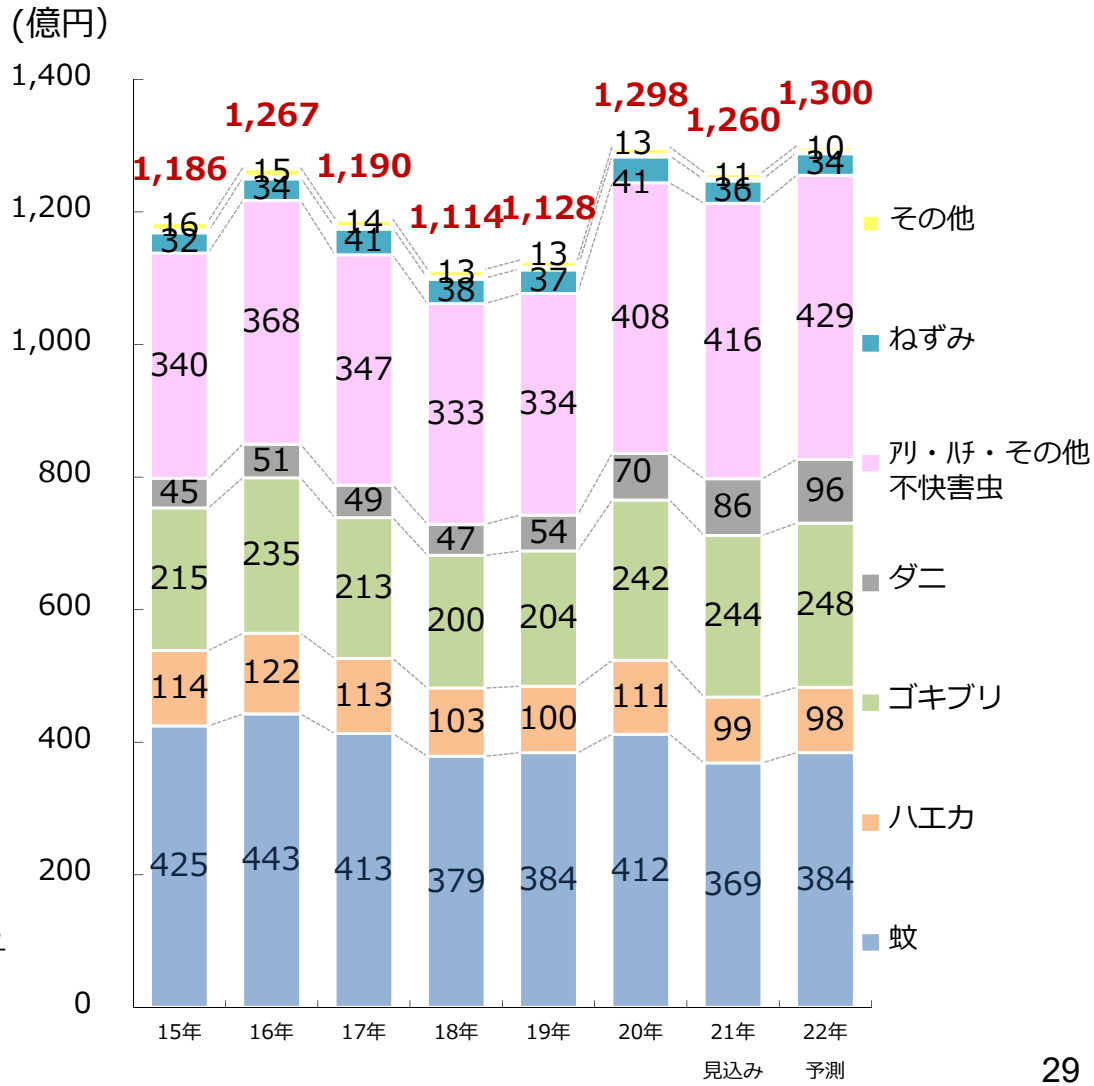
日用品質 フマキラー

家庭用殺虫剤市場規模－国内市場

国内・家庭用殺虫剤市場規模
年間約1,300億円（小売ベース）



害虫別殺虫剤市場規模



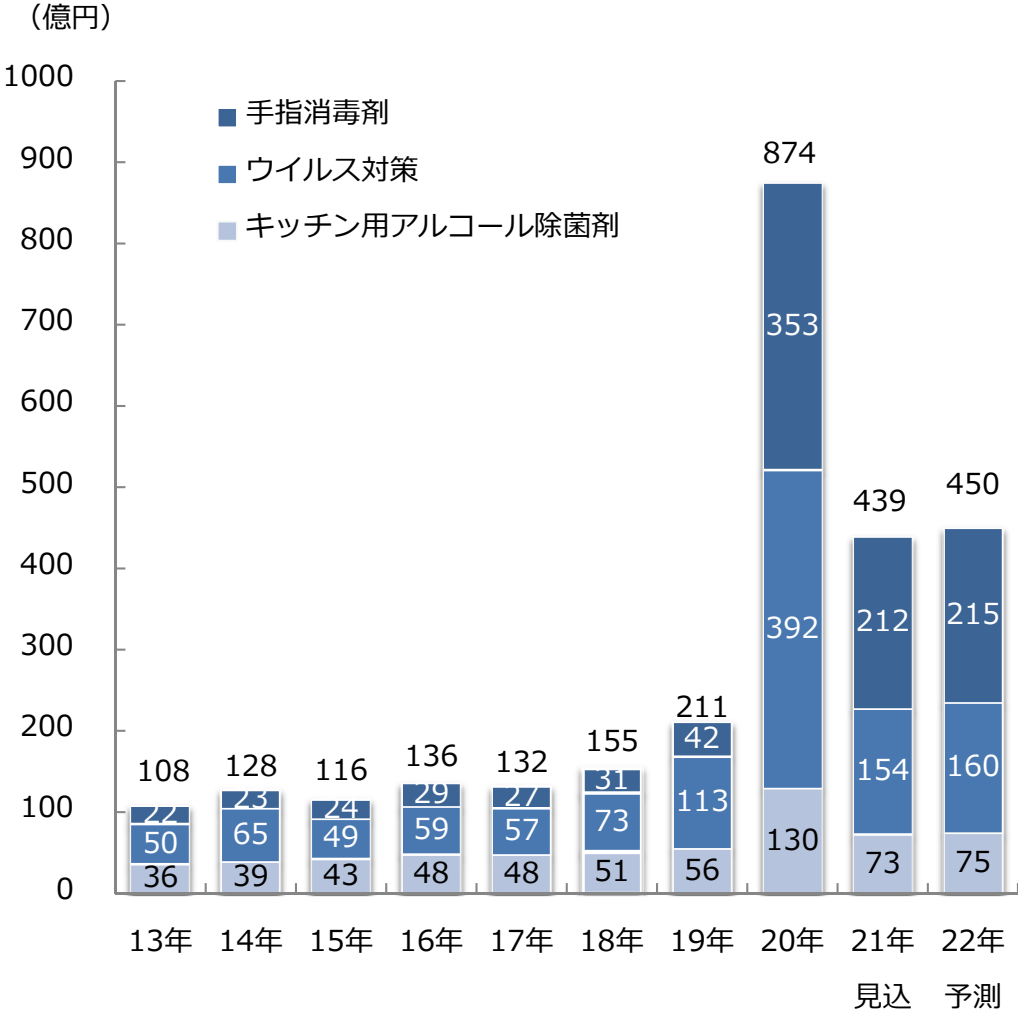
※データ出典インテージ社SRI+(2020年1月～)

日用品質 フマキラー

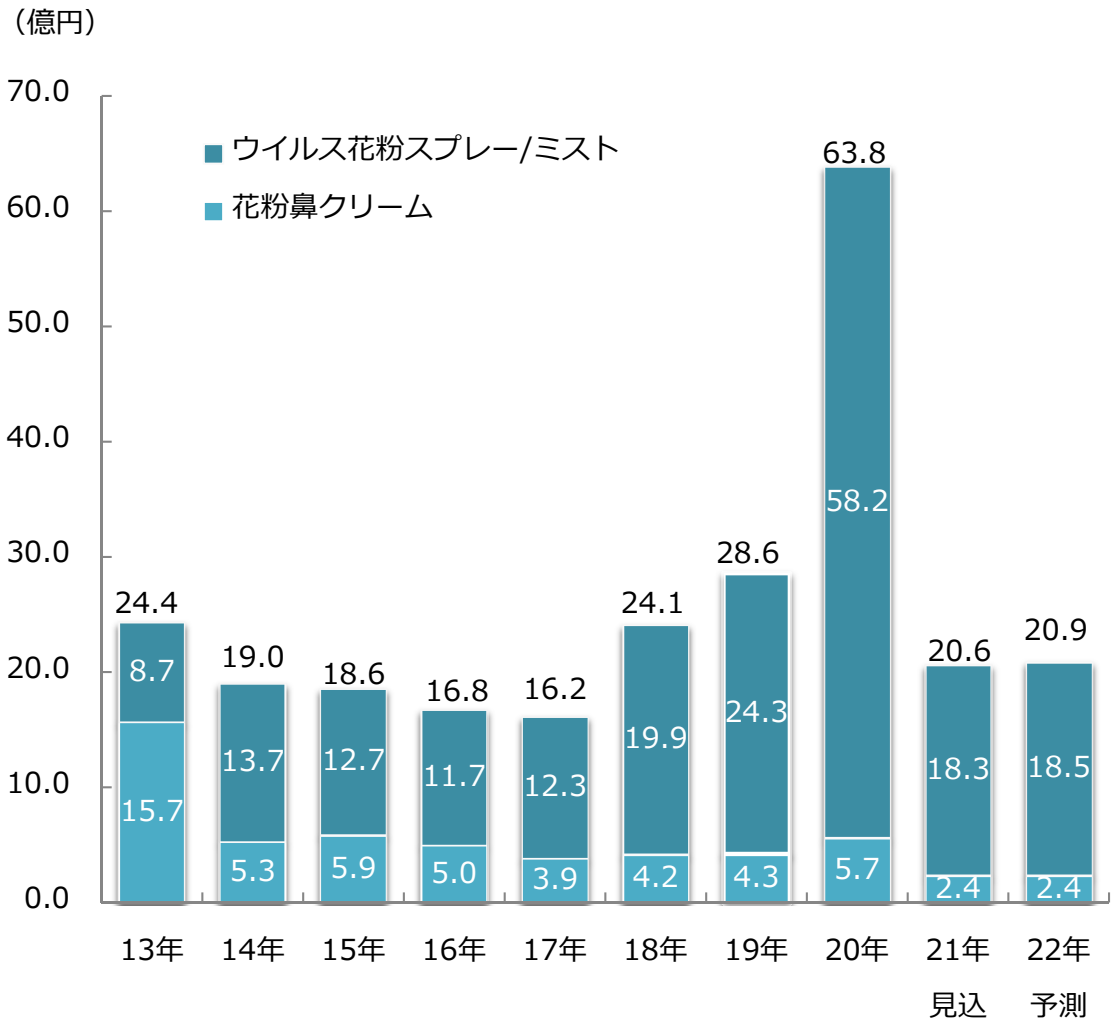
家庭用品市場規模―除菌剤・花粉

除菌剤市場

（当社関連商品）



アレルシャット関連市場

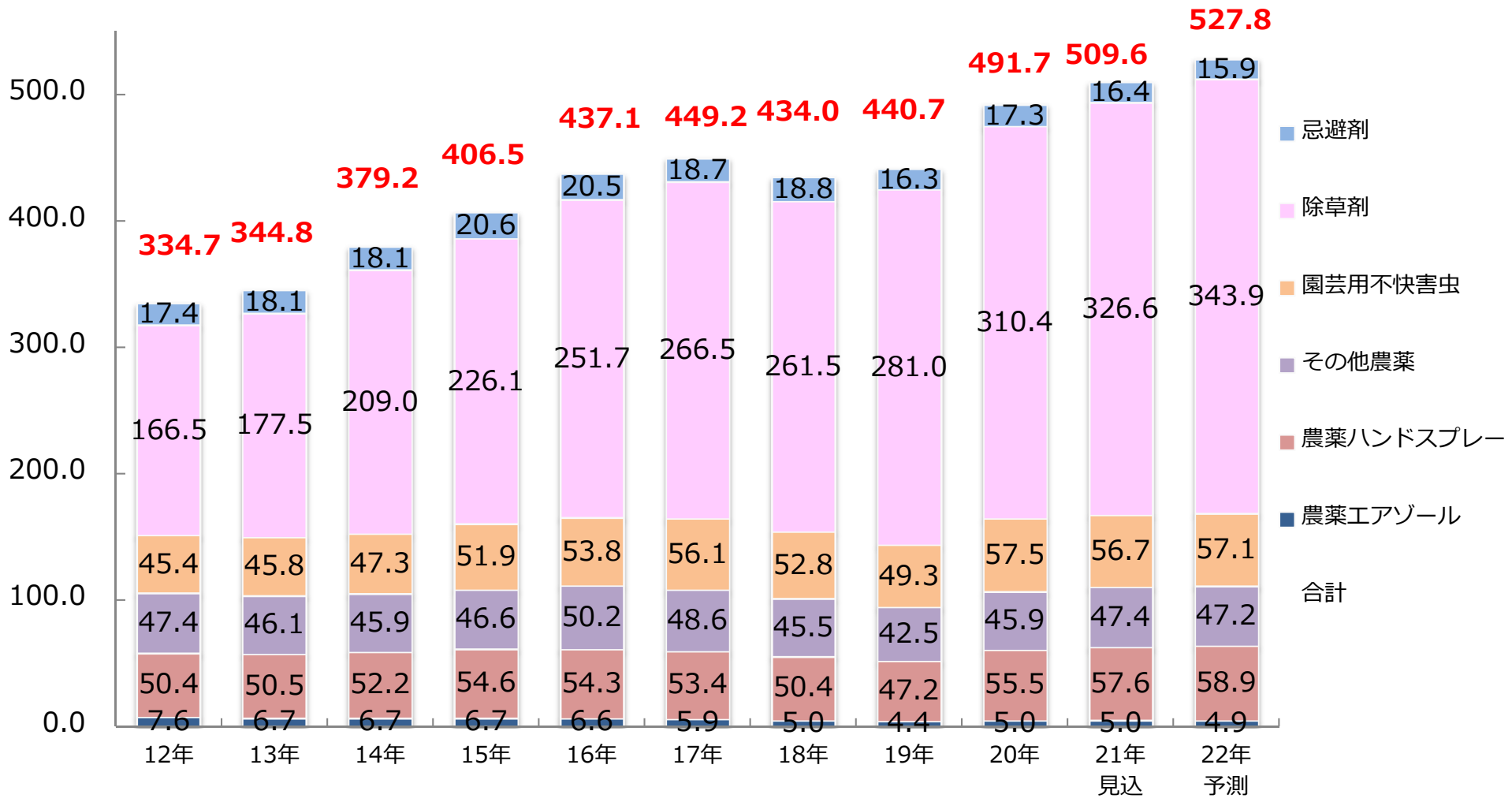


出所：当社推定（末端価格）

日用品質 フマキラー

園芸用品市場規模

園芸用品市場



出所：当社推定（末端価格）